



道路建設産業労働組合協議会

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目2番16号TGBビルディング内 (NIPPPO労働組合内)

電話 03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

2016年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員の皆さまならびにご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。新春をご家族の皆さまと共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にもかかわらず業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、ラグビーワールドカップにおける日本代表の大活躍で日本中が沸きました。また、ノーベル賞においては物理学賞と医学生理学賞のダブル受賞と日本の科学技術の高さを世界にアピールした年でもありました。

経済に目を向けますと、企業業績は大企業を中心におおむね良好な状態が続いています。しかし、海外経済の不透明感は拭いきれていない状態であり、日銀12月短観では「先行きは悪化」との判断になっています。

一方、我々が置かれている道路産業に目を向けると2015年9月の中間決算を見ても過去の不採算工事の減少や採算重視の受注戦略により多くの会社が利益を伸ばしていますが人員不足は深刻であり、一人一人の業務量は確実に増加しています。

このような環境下、道建労協では道路建設産業で働く仲間の労働環境改善に向けた取り組みとして特に、土曜閉所推進運動に注力しています。アンケート結果で最も多くの意見が寄せられる「業界全体での取り組み」に対し、単組ではなかなか働きかけが難しい業界団体へ定期的に協力要請を実施しているところでもあります。昨今の担い手不足の観点から、労働時間の問題は業界全体で喫緊の課題としてとらえられています。残念ながら現状は閉所率、休日取得率ともなかなか進展していません。しかし、少しずつですがアスファルト合材プラントの土曜閉所等、全国各地で地道な活動が実を結んできています。私たち組合員だけでなく、政労使全体で動きだしている今こそ大きく前進するチャンスなのです。今後も建設産労懇の仲間と一緒に継続して取り組んでいき、長時間労働の要因となる障害を一つずつ発見し取り除きながら、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて共に進んでいきましょう。

本年も私達は一步ずつではありますが、魅力ある道路建設産業を実現するために活動を進めていきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、本年が道建労協加盟単組組合員の皆様にとって充実感溢れる年となりますことを心からお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます

道建労協 議長 白鳥 雅之



フリーウェイ

【山の日】

今年から八月一日は国民の祝日

「山の日」です。

「山の日（山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日）」は、国民の祝日に関する法律が平成二六年五月三〇日に公布され、「国民の祝日」として新たに設けられることになりました。この改正は今年一月一日から施工され、八月初となる国民の祝日となりました。これで国民の祝日がない月は六月のみになりました。次の法改正に期待しましょう。ちなみに「国民の祝日」の年間日数は一六日となり、日本は年間祝祭日数世界ランキング第二位となりました。

このように政労使全体で「休日」に対して動き出している今こそが我々道路建設産業が抱えている喫緊の課題「時間外労働の削減」「休日取得」に対して大きく前進するチャンスです。

今年の八月一日は木曜日、一五日のお盆は月曜日ですから、みなさん、今から計画的に長期休暇を取得できるように取り組んでいきましょう。

大成ロテック社員組合

大上 賢二

企業業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に合わせて、10月に各加盟単組企業や関係団体へ協力要請を行いました。道建協がこの運動の後援に加わってから、土曜閉所に対する業界を取り巻く環境も日増しに好転しています。各社各団体を訪問している時にも感じますが、各社の社長は組合員のワーク・ライフ・バランスの実現や次世代の人材確保、産業の魅力化という観点から、この運動には協力を惜しまないという姿勢を示しています。今回から国土交通省も後援に加わり、業界全体が本腰をいれて土曜閉所・休日取得に向けた運動を支援する環境に変わってきたといえます。



政労使の意識が変わってきた今こそチャンスです。私たちもいっそうの意識改善に取り組み、計画的な休日取得を実現させましょう。次期時折の繁忙を伴う現場は依然と厳しい状況にあり、現在も苦勞されていることは十分に理解できますが、私たち一人ひとりが意識と働き方を変えなければ、道路建設産業が魅力ある産業へ変貌することは難しいでしょう。今一度、自分を見つめ直して、休日取得に向けた「働き方の改善」を検討してみてください。

大成ロテック社員組合 大上 賢二

地協のない地域の交流会

四国地区

2015年10月21日(水)高松東急インにおいて、各単組と本部合わせて総勢14名で四国地区交流会が開催されました。まずは白鳥議長より11月14日土曜閉所運動の取り組みについて説明がありました。この運動は組合側だけじゃなく、業界団体である道建協を筆頭に日合協も積極的に取り組んで頂いております。今回のポスターから「完全週休2日制工事」を試行されている、国土交通省の後援をいただくことになりました。意見交換会では時間外労働に対する「時短活動」について各社の取り組みが話されました。ある会社の出勤簿はPCのシャットダウンシステムを導入したことにより、制限時間までに業務を終わらせることにつながり、家族と自分の時間を大切にすることが出来るようになったと話をされておりました。各社とも人手不足・採用で苦戦している状況下で、魅力ある労働環境づくりのために、休む・休ますという意識改革が必要となります。その後の懇親会でも各舗装会社の労働環境について活発な意見交換がされました。



前田道路労働組合 松浦 孝

中国地区

2015年10月22日(木)、広島のホテルセンチュリー21にて「道建労協 中国地区交流会」が開催されました。参加者は5単組13名が参加。また、道建労協本部より白鳥議長、松浦副議長、彦阪副議長、俵事務局長に参加していただき、活発な意見交換が行われました。労働環境における問題点として土曜閉所強調月間の取り組み、時短・休日取得など、各単組の抱える問題点について意見を出し合い、今後の解決策の糸口となるよう意見交換を行いました。また懇親会では、普段触れ合うことのない、各単組同士でいろいろな意見を交換し、懇親を深めることができました。



大林道路職員組合 中島 雅浩

九州地区

2015年10月23日(金)アイピーホテル福岡において、各単組と本部合わせて総勢21名で九州地区交流会が開催されました。まずは依事務局長から11月の土曜閉所月間にむけた取り組みの説明がありました。この運動は、業界団体である道建協を筆頭に会員である会社側も取り組む姿勢を見せている状況のなかで活動しています。また、今年も11月14日の土曜閉所に合わせて開催する、全国統一ボウリング大会の説明がありました。この大会が単組の垣根を越えて家族や同僚との絆を深めるとともに、土曜日閉所活動への一翼を担う取り組みになると感じました。交流会の場ではお互いの単組活動を通じて、色々な意見があり、様々な刺激を受けただけでなく、情報交換からしか得ることのできない将来へのヒントがたくさんあった交流会だと感じました。将来の舗装業界を見据え、まずは一歩ずつ計画を立てて“働き方を見直して行動しよう”ということとなり、懇親会でもその話題で盛り上がりました。



前田道路労働組合 林 太一

全国ボウリング大会

土曜閉所強調月間期間中の11月14日に、全国統一ボウリング大会が開催されました。

今回で2回目となった全国ボウリング大会ですが、全国14カ所の会場で総勢339名の方が参加され、それぞれの会場において熱戦が繰り広げられました。

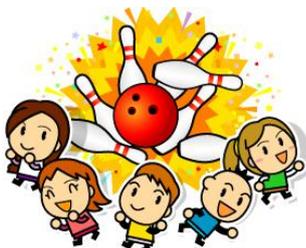
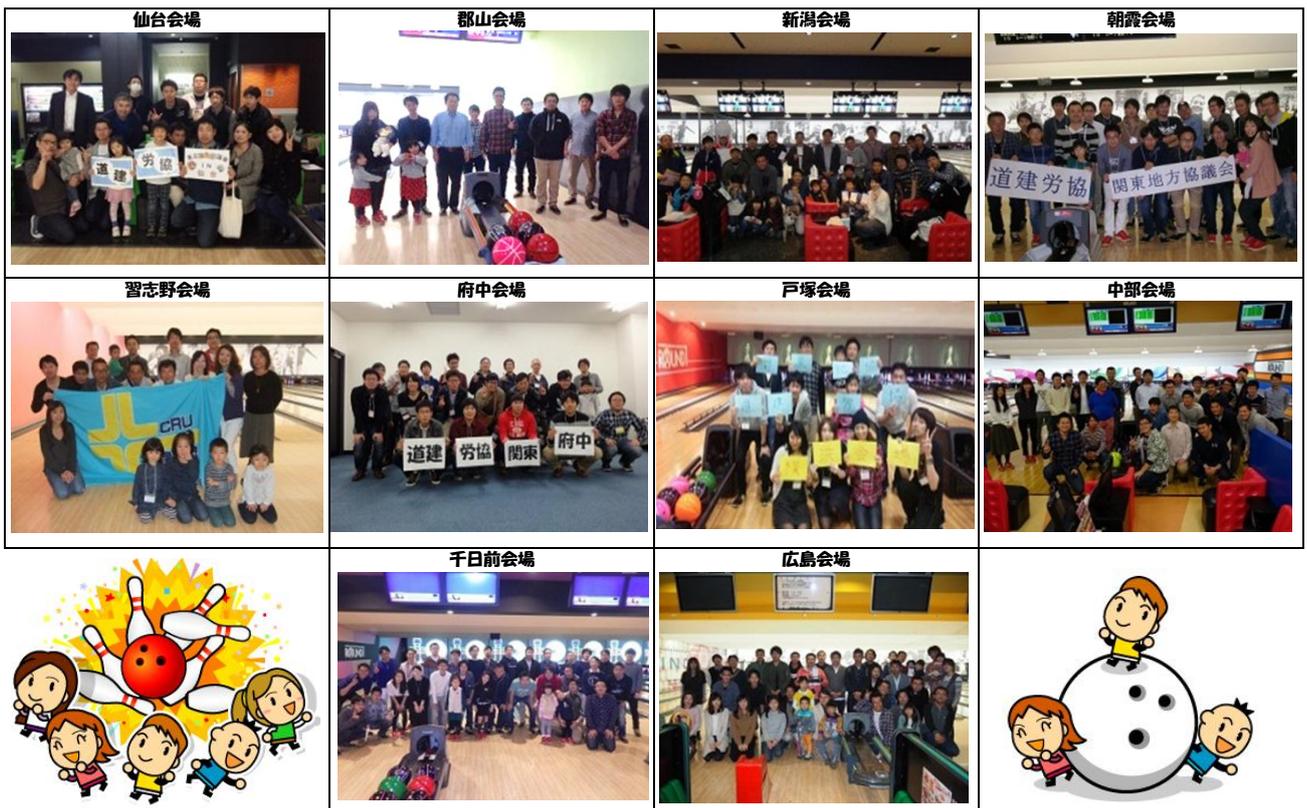
その熱戦を制し、全体の優勝者になった方は、なんと435点をたたき出した、前田道路労働組合の榎尾さんです。1ゲームあたり217.5点はすごいですね。

その他たくさんの方が入賞されています。入賞者の一覧や参加者全員の順位については道建協のホームページに大会の写真とともにアップされていますので、そちらもご覧ください。

また、今回は各会場での表彰式も行われ、各地でも表彰式を行うことにより、日頃交流の少ない単組間での交流の一助となったのではないのでしょうか。今回休日を取得できなかった方は、来年こそ休日取得できるように『土曜日は休日である』という意識を常に持って、日々の業務を進めていきましょう。そして来年は500人を目指し、皆さんの参加をお待ちしています。

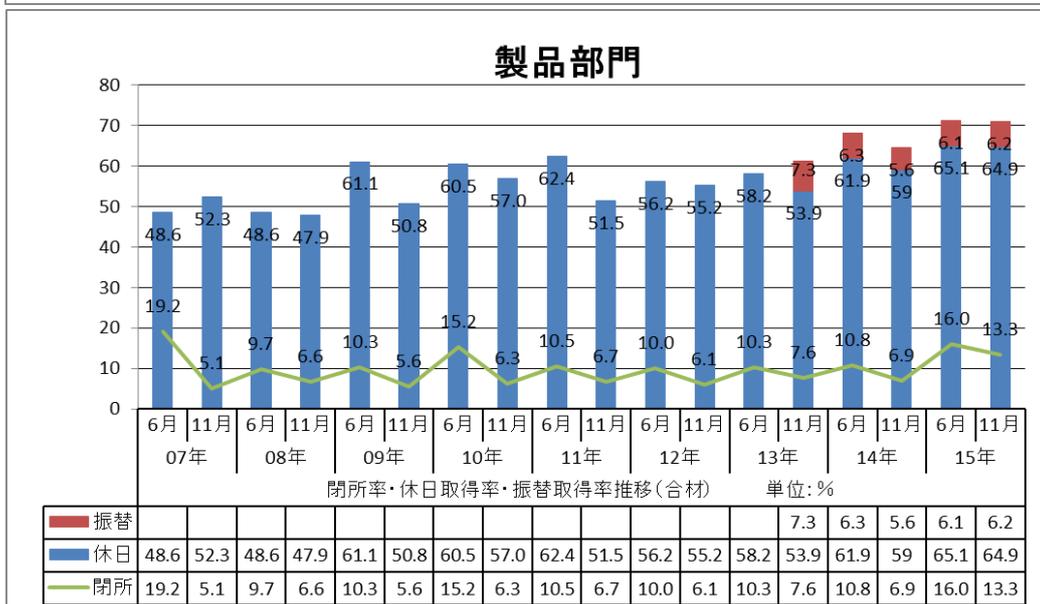
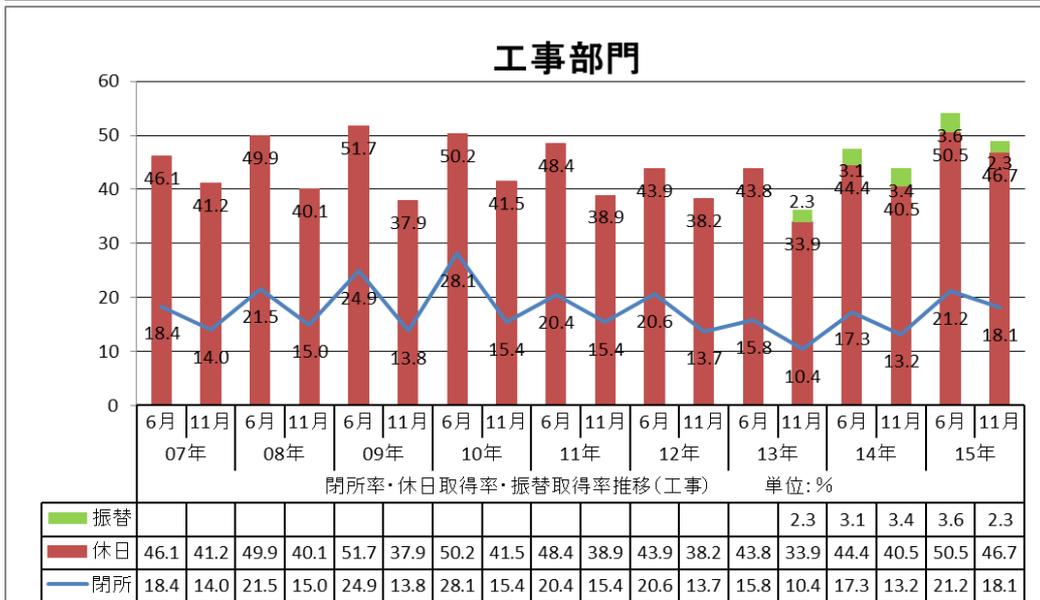
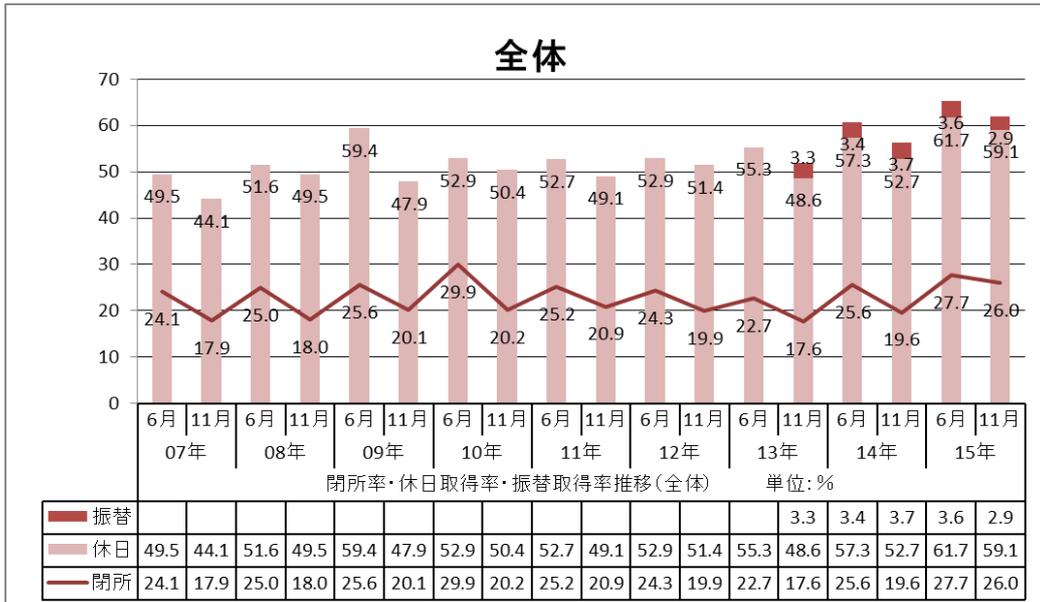
最後に、地方協議会幹事長、幹事、地方協議会のない地域の「地域連絡会」幹事の皆様に多大なるご協力をいただいた結果、今回も盛大に開催することが出来ました。心より御礼申し上げますとともに、今後とも道建協の活動をはじめ、より良い労働環境改善に向けた活動にご協力いただきます様、お願い申し上げます。

大林道路職員組合 彦阪 貞宣



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2015年11月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



物知り クイズ

皆さん、年末年始はゆっくりとお過ごしになられたでしょうか。年度末の繁忙期に向けて頭を切り替えていきましょう。今回の「物知りクイズ」のテーマは「初詣」です。初詣などで神社にお参りする作法、自信ありますか？正しい知識をもって、しっかり運を呼び込みたいですね。神社にまつわる大人の常識を確認してみてください。

Q1. 鳥居の正しいぐり方とは？

- ① 中央で一礼し、極力中央をくぐる ② 中央を避けた位置で一礼し、そのまま進む ③ 一礼はせず、鳥居の外側を通る
④ 中央を避けた位置で一礼し、鳥居の外側を通る

Q2. 参拝前に体を清める手水舎、そこでまず洗うのは？

- ① 口 ② 右手 ③ 左手 ④ 顔

Q3. いよいよ本殿に参拝、おさい銭を入れる正しいタイミングとは？

- ① 鈴を2~3回鳴らしたあと ② 二礼二拍手のあと ③ 最初に一礼したあと ④ 最後に一礼したあと

Q4. 運試しのおみくじ、吉、末吉、小吉、凶、一番運勢が良いのはどれ？

- ① 吉 ② 末吉 ③ 小吉 ④ 凶



<応募方法> 下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 2月29日（月）
- 宛先 〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内 道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛
Fax: 03-5487-0051 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE90号物知りクイズ当選者

該当者なし

○組合員からのご意見

- ・90号の編集後記で、「雑用を軽んじていると運から見放される」...身に染みます。
- ・物知りクイズは結構難しいです。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

さて2015年も引き続き好調な受注環境が続き、賞与においても各単組での増加が目立った年だったかと思えます。しかしながら、2016年は年始から海外新興国経済の減速などから、今後の日本経済への影響も心配され、先行きの不透明感は否めません。また、私たち建設業界も決して油断できる状況ではありません。

人材不足の面でも未だ建設業界への悪いイメージが払拭されず、採用面でも苦労している状況です。今後、色々な面で雲行きが怪しい状況ではありますが、引き続き我々が提唱しているワークライフバランスを推進し、時短推進活動や土休日取得に向け、努力して行くことが、皆様の幸せになることと思っています。